

---

# 覚えとけ俺と過ごした日々を

保存食は、とばとビーフジャーキー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

覚えとけ俺と過ごした日々を

### 【Nコード】

N1474U

### 【作者名】

保存食は、とばとビーフジャーキー

### 【あらすじ】

これは、6月17日の佐藤優真の夜のお話である。

**6月17日快感は笑顔の始まり（前書き）**

ボーイズラブ、御呼び同性愛が苦手な御方はU-turnして下  
さい

初めて書いたものなので滅茶苦茶ですが、温かい目での閲覧を心  
より願っています

## 6月17日快感は笑顔の始まり

「ああああ・・・あ・・・ああ・・・あ」

「どうしたのお？もういつちやうんでちゆかあ？」

「あ・・・んあ・・・そ・・・こ・・・わ・・・ああ」

「ここお？ゆうきたんわあ敏感でちゆねえ〜」

「らっ・・・ああらめえええええ」

ピピピピっ・・・ピピピピっ・・・もう時間がたったのか・・・

どうやら6回目はいかずに済んだ。

「ふう・・・」

彼は、ボディータッチしつつ僕に優しく服を着せてくれた。

そして優しく唇がかぶさった。

浅くて、優しいキスだ。

「はい、ゆうきたん！お金と鍵！」

そうやって彼は下から順に服を着る。

僕はほっとして金を数える、万札が7枚と5千円札が一枚。

その金は、ラブホ代と僕自身の身体代だ。

2万5千円は、ホテル代である。5万いたできつ。

僕は、彼の顔の近くまで行く。今日も笑顔でこう言うんだ。

「また遊んでくれる？」

「もちろんだお！じゃばいばいゆうきたん」彼はそう言って部屋を出た。

ふう・・・

でわ今日の仕事終わったところで、自己紹介を始めましょう。

僕の名前は「佐藤優真」

歳は明後日で20歳だ、去年私立の「龍南高校」を卒業した。

18で卒業できなかった事は言うまでもない。

ちなみに「ゆうき」は仮の名前。

そう僕は2時間5万円で身体を売っている。

昔は「Te111」とゆう出会い系サイトで女とやりまくっていた。だが毎晩女だと飽きる。

そうして僕は、乗り換えた、今は「Period」の一員である。ピリオドは、「同性愛」とゆうものが楽しめる。

意外と同性愛も悪くない。

そんじゃここで自己紹介は終わり。

しつもんがあるってえ？

悪いけどまた今度ね「詳細はウェブで！」

僕は万札5枚をポケットに突っ込んだ。

2万5千円と部屋の鍵を持ち金を払って、ラブホテルを後にした。

今日の夜は、楽しかった。

月も笑っている。

……なぜかもうハッピーエンドのよう、天国を見ているよう。

……めでたしめでたし。

……こんな夜が毎晩続くと良いですね。ゆうきたん。

「人生ってそんなに甘いものなんですかね。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1474u/>

---

覚えとけ俺と過ごした日々を

2011年10月9日02時06分発行